

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内



<http://www.molitec.co.jp/>

当社HPにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。



IR情報メール配信サービス

Eメールアドレスをご登録頂いた皆様に最新の当社IR情報をEメールでお知らせいたします。ご希望の方はトップページからご登録ください。

CONTENTS

トップメッセージ	P 1
連結財務ハイライト	P 2
部門別の概況	P 3~4
四半期連結財務諸表	P 5~6
環境への取り組み	P 7
トピックス	P 8
会社情報	P 9
株式情報	P 10



本報告書は、環境保全のため、  
植物油インクで印刷しています。



モリテック スチール株式会社



モリテック スチール株式会社

証券コード：5986



株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、当社第74期第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

平成26年12月

取締役社長 永見 研二

## 営業の概況

### 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策などにより、企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や新興国経済の減速懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当第2四半期連結累計期間の売上高は128億4千9百万円と前年同四半期比9.8%増加いたしました。営業利益につきましては3億6千9百万円と前年同四半期比12.6%減少いたしました。

経常利益は3億9千6百万円と前年同四半期比14.0%減少いたしました。四半期純利益につきましては2億4千1百万円と前年同四半期比9.5%の増加となりました。

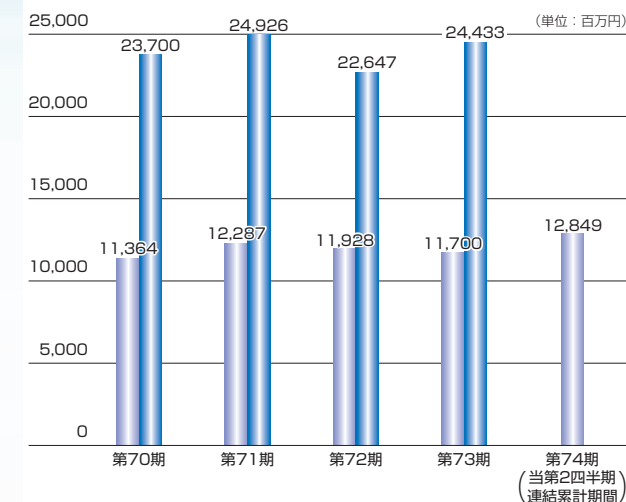
セグメント別の売上高、営業利益につきましては、特殊帯鋼、普通鋼等の鋼材を販売しております商事部門は、売上高は71億9千8百万円と前年同四半期比6.5%増加、セグメント利益（営業利益）は2億8千5百万円と前年同四半期比18.1%減少となりました。

焼入鋼帯、鋅金加工品を製造販売しております焼入鋼帯部門、鋅金加工品部門では、焼入鋼帯部門につきましては、売上高は7億3千3百万円と前年同四半期比8.9%減少、セグメント利益（営業利益）は1億8百万円と前年同四半期比6.3%減少となりました。鋅金加工品部門は、売上高は37億6千3百万円と前年同四半期比2.0%増加、セグメント利益（営業利益）は4億7千7百万円と前年同四半期比6.2%減少となりました。

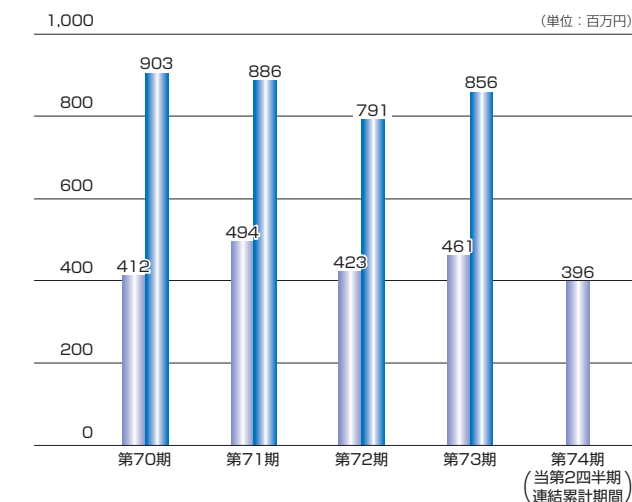
また、海外事業につきましては、前連結会計年度において非連結子会社であった上海摩立特克鋼鐵商貿有限公司を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことなどにより、売上高は11億5千4百万円と157.1%増加、セグメント利益（営業利益）は4千3百万円（前年同四半期は4千7百万円の損失）となりました。

### 第2四半期連結累計期間 通期

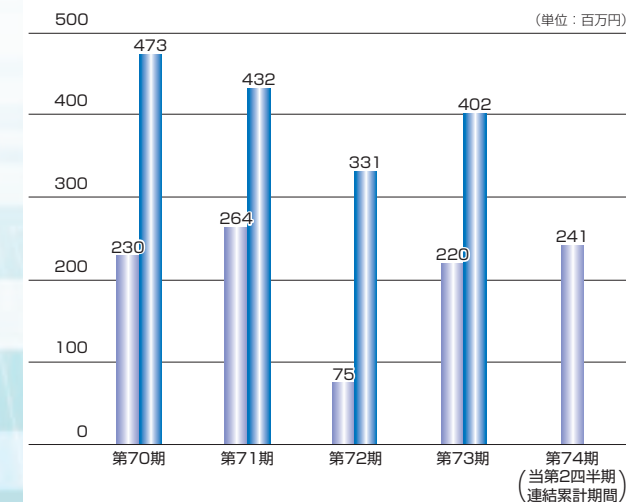
#### ●売上高



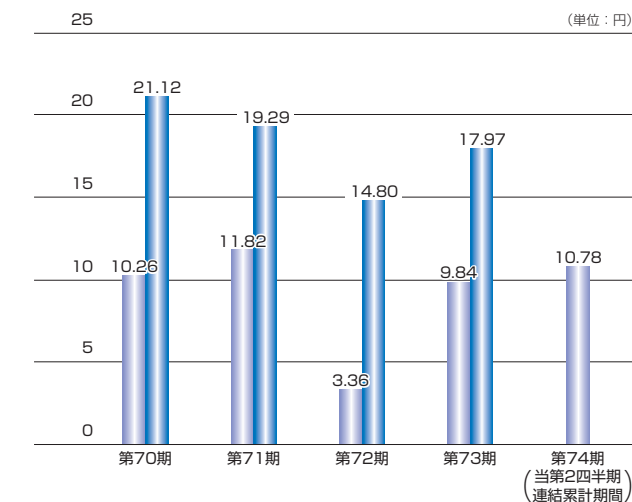
#### ●経常利益



#### ●四半期(当期)純利益



#### ●1株当たり四半期(当期)純利益



(注) 第72期より連結ベースで記載しております。

部門別の概況

鈹金加工品部門

売上高 3,763百万円

取扱製品

- ・自動車用機能部品
- ・家電用精密部品
- ・農業機械用モジュール部品
- ・ゼンマイ製品
- ・コードリール
- ・金型
- ・各種アッセンブリ製品



自動車部品



CVT部品



家電部品



コードリール



農業機械部品



オーガ

海外事業

売上高 1,154百万円

焼入鋼帯部門

売上高 733百万円

取扱製品

- ・焼入鋼帯
- ・バーナイト鋼帯



焼入鋼帯



刃物（用途例）



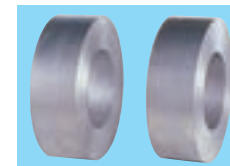
ゼンマイ（用途例）

商事部門

売上高 7,198百万円

取扱商品

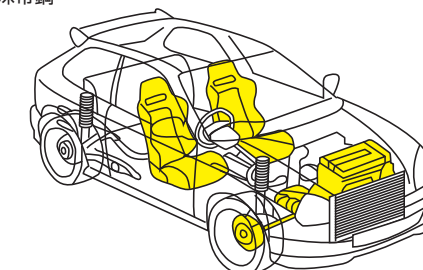
- ・みがき特殊帯鋼
- ・熱間圧延鋼帯
- ・みがき帯鋼
- ・冷間圧延鋼帯
- ・ステンレス鋼帯
- ・ばね用ステンレス鋼帯
- ・表面処理鋼板



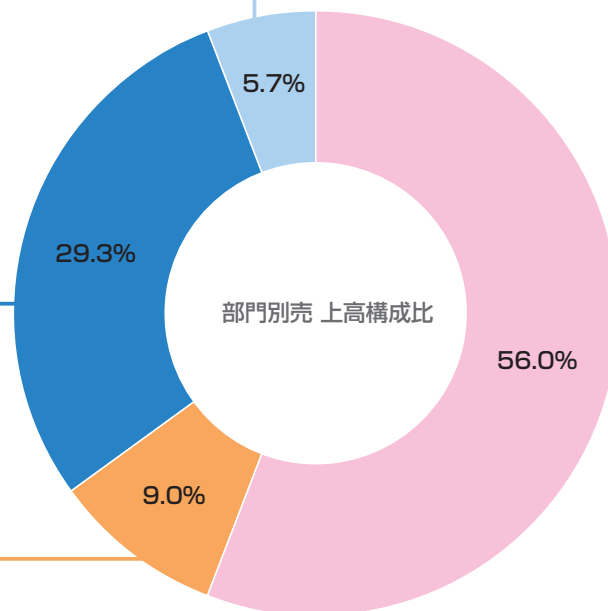
みがき特殊帯鋼



ステンレス鋼帯



当社取扱商品は自動車部品（エンジン、ミッション、ブレーキ、シート等）をはじめ、各種機能部品に使われております。

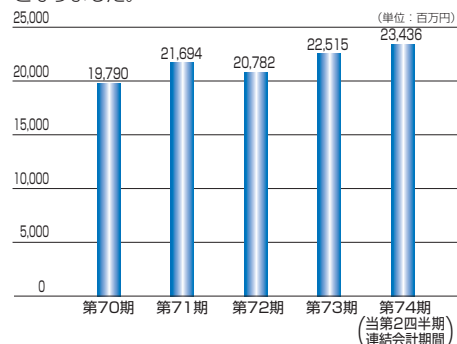


区分	売上高 (百万円)
商事部門	7,198
焼入鋼帯部門	733
鈹金加工品部門	3,763
海外事業	1,154
合計	12,849

四半期連結財務諸表

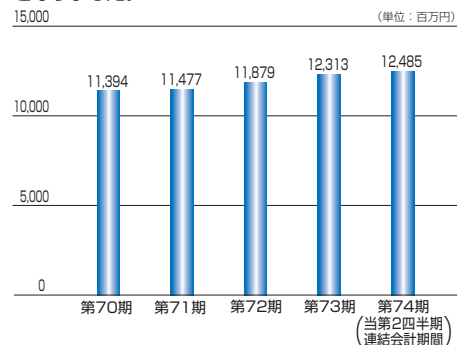
Point① 資産合計

当第2四半期連結会計期間末の総資産は234億3千6百万円（前連結会計年度末比9億2千1百万円増加）となりました。



Point② 純資産合計

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は124億8千5百万円（前連結会計年度末比1億7千2百万円増加）となりました。



(注) 第71期より連結ベースで記載しております。

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,204,410	14,649,950
固定資産	8,311,287	8,786,860
有形固定資産	5,889,454	6,079,631
無形固定資産	61,999	74,779
投資その他の資産	2,359,833	2,632,448
<b>Point① 資産合計</b>	<b>22,515,697</b>	<b>23,436,810</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,107,501	7,875,327
固定負債	2,094,968	3,075,488
<b>負債合計</b>	<b>10,202,469</b>	<b>10,950,816</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	11,657,090	11,666,400
資本金	1,848,846	1,848,846
資本剰余金	1,469,608	1,469,608
利益剰余金	8,378,895	8,388,289
自己株式	△ 40,260	△ 40,344
その他の包括利益累計額	653,335	816,546
その他有価証券評価差額金	516,223	715,264
為替換算調整勘定	177,147	135,584
退職給付に係る調整累計額	△ 40,034	△ 34,303
少数株主持分	2,801	3,047
<b>Point② 純資産合計</b>	<b>12,313,227</b>	<b>12,485,994</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>22,515,697</b>	<b>23,436,810</b>

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,700,817	12,849,254
売上原価	9,918,475	10,984,084
売上総利益	1,782,341	1,865,170
販売費及び一般管理費	1,359,353	1,495,637
営業利益	422,988	369,532
営業外収益	49,128	58,799
営業外費用	10,935	31,621
経常利益	461,182	396,709
特別利益	49	—
特別損失	3,741	798
税金等調整前四半期純利益	457,489	395,910
法人税等	237,077	153,968
少数株主損益調整前四半期純利益	220,411	241,942
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△ 182	318
四半期純利益	220,593	241,623

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 159,644</b>	<b>△ 338,027</b>
<b>Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 555,790</b>	<b>△ 550,299</b>
<b>Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 277,734</b>	<b>688,972</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	83,369	△ 17,124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 909,799	△ 216,478
現金及び現金同等物の期首残高	4,841,146	3,828,466
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	107,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,931,346	3,719,772

Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を3億9千5百万円、非資金項目である減価償却費を3億5百万円計上したほか、仕入債務の減少3億3千7百万円、売上債権の増加1億5千3百万円、たな卸資産の増加2億5千3百万円、法人税等の支払3億4千1百万円等により、3億3千8百万円の資金減少となりました。

Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得5億3千万円等により、5億5千万円の資金減少となりました。

Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入10億7千7百万円、長期借入金の返済1億5千2百万円、配当金の支払2億2千3百万円等により、6億8千8百万円の資金増加となりました。

### ISO14001 (環境マネジメントシステム規格) 認証取得

三重大山田工場	取得日: 2002年5月10日	ジュタワン・モリテック (タイランド) 株式会社	取得日: 2007年1月16日
宇都宮工場	取得日: 2004年6月25日		
本社・営業部門	取得日: 2006年4月28日		

#### 1 環境に対する取り組みと考え方

当社グループは環境保全への取り組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、あらゆる面での環境への負荷低減に努めるとともに、環境保全に配慮した製品を提供すること(設計開発、生産工程、原材料、物資の投下及び廃棄、物流等の各過程において省資源、省エネルギー、リサイクル等への配慮)、また法令遵守はもとより、環境教育の強化を図ることによって持続的に発展が可能な社会の構築に貢献してまいります。

#### 2 環境への配慮

##### 室内物干し「ルームハンガー」



写真 クリーンエネルギーであるゼンマイを利用した当社のブランド製品です。

##### くるリング 充電スタンド



EV/PHV用ケーブル自動巻取り式充電スタンド  
業界初! ケーブル巻取りの構造は「無接点方式」で、安全・安心!!

#### 3 製造部門におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減

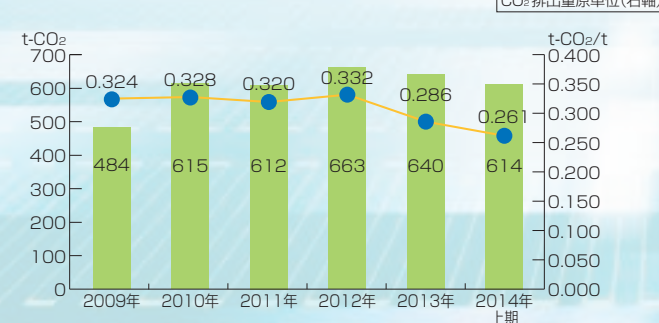
当社はCO<sub>2</sub>排出削減に取り組み、目標として、2009年生産原単位(t-CO<sub>2</sub>/t)対比で毎年1%以上削減の自主目標を掲げ、その実現に向けてさまざまな取り組みを推進しております。

2014年上期月平均生産量は、2013年対比で5.1%増加、CO<sub>2</sub>排出量(t-CO<sub>2</sub>)は640(t-CO<sub>2</sub>)が614(t-CO<sub>2</sub>)と4.1%削減できました。

その結果2014年上期生産原単位は0.261(t-CO<sub>2</sub>/t)と前年対比で8.7%削減することができました。生産効率向上と工場空調機器の更新を進めた結果、目標を達成しております。

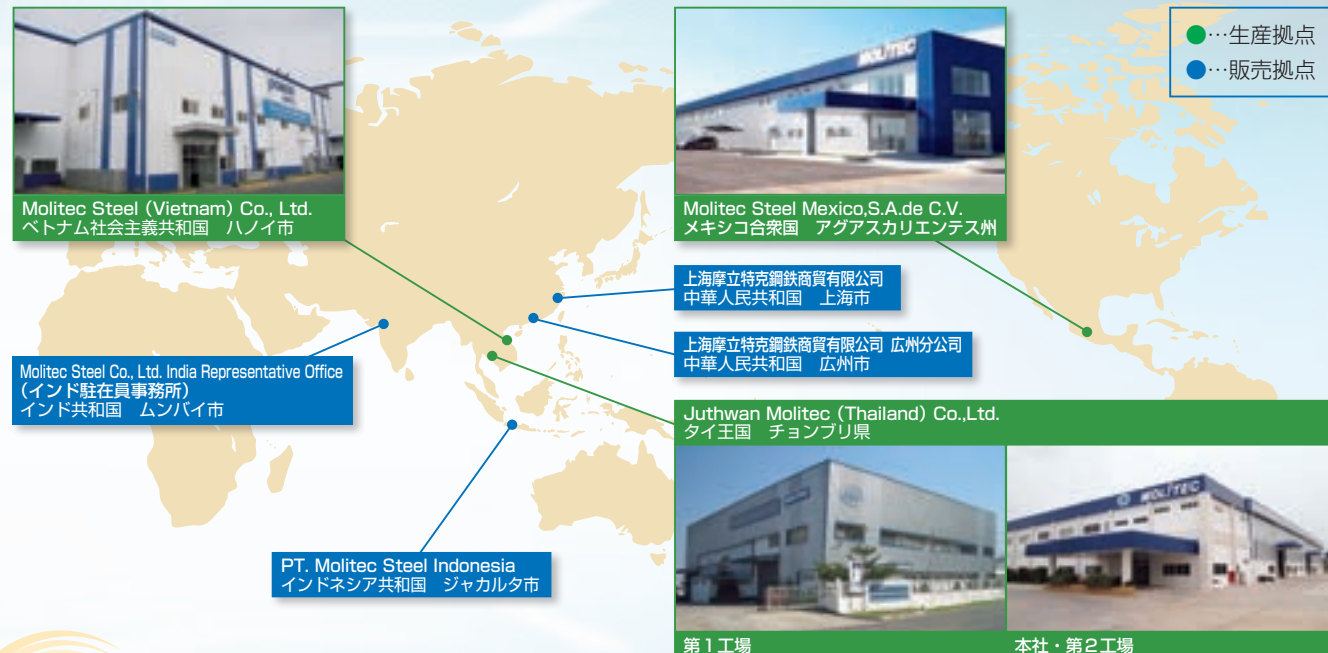
下期も引き続き生産効率向上に努め、通期での目標達成に向けて取り組んでまいります。

過去5年間の製造部門CO<sub>2</sub>排出量推移(月平均)



・CO<sub>2</sub>換算係数=2009年度~2013年度 各年度の排出係数で算出  
・2014年上期は電力会社排出係数未発表のため、前年度排出係数で算出

### ●グローバルネットワーク



### ●当社のブランド製品である室内物干し器“くるリング”が、2014年度グッドデザイン賞を受賞致しました。

受賞対象名 室内物干し器 “くるリング”

審査番号 G060169

受賞番号 14G060490

仕様

室内天井に取り付ける物干し金物。使い方は、物干し金物を天井に取り付けておき、リングを降ろしてセットする。リングの昇降は6段階の調整が可能。単体使用も2箇所つけて竿を通して使用することもできる。リング形状は瓢箪形にすることで、竿がリングから抜け落ちない安全設計。不意な来客時などはゼンマイバネが動力でワイヤーを巻取り、リングを天井に対して水平に収納でき、部屋の景観も損ねない商品である。

審査委員の評価

室内干しは、建物の美観、大気汚染などの理由でニーズが高まっている。本製品は、竿を掛けるリングが天井に収納され、使用時に下して使用する構成。天井にコンパクトに収納できる点や、収納時手を放すとワイヤーがスルスルと収納され、常に美しく定位置に戻る様子が面白く、アクションが軽快。リングの形状は樹脂の柔軟性を活用し、竿がしっかり固定されるようになっている。コンパクトながら1個で8kgの洗濯物を干せる耐荷重を持つ。



会社情報 (平成26年9月30日現在)

■ 会社概要

商号 モリテックスチール株式会社  
 創業 昭和18年5月  
 設立 昭和25年11月  
 資本金 18億4,884万6,387円  
 従業員 315名

■ 役員

取締役会長	清水 正廣	監査役(常勤)	五島 吉朗
取締役社長	永見 研二	監査役(常勤)	森 剛之
常務取締役	赤尾 正則	監査役(社外)	布川 裕康
常務取締役	木村 慎一	監査役(社外)	田原 尚登
常務取締役	松下 善紀		
取締役	谷口 正典		
取締役	糸川 哲朗		
取締役	門 高司		
取締役	森 泰之		
取締役	速水 宏祐		
取締役(社外)	阪口 誠		

■ 事業所所在地

《国内》

- ◎ 本社：大阪
- 営業拠点：大阪、東京、名古屋、広島、北海道、九州（福岡）
- 工場：三重、宇都宮



株式情報 (平成26年9月30日現在)

■ 株式の状況

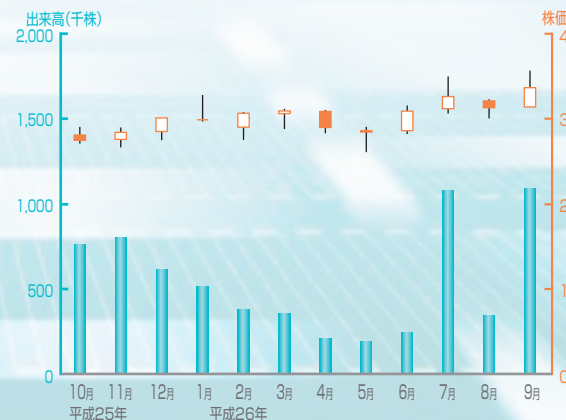
発行可能株式総数 50,000,000株  
 発行済株式の総数 22,406,651株  
 (自己株式151,412株を除く。)  
 単元株式数 100株  
 株主数 3,187名

■ 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日新製鋼株式会社	2,244	10.02
株式会社メタルワン	1,992	8.89
日本生命保険相互会社	1,270	5.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,110	4.96
株式会社近畿大阪銀行	960	4.29
株式会社みずほ銀行	780	3.48
大同生命保険株式会社	600	2.68
水元公仁	530	2.37
森 文子	492	2.20
森 浩之	466	2.08

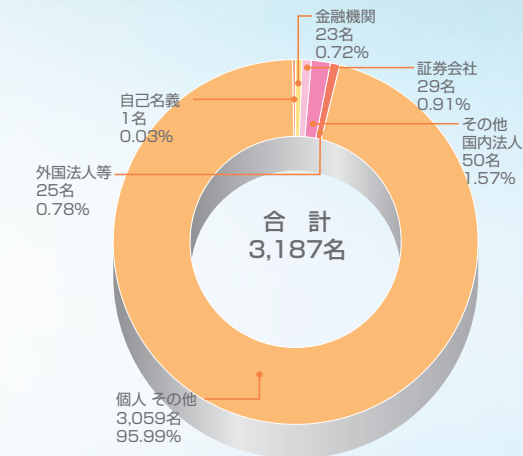
(注) 持株比率は自己株式(151,412株)を控除して計算しております。

■ 株価推移表



■ 株式の状況

株主数構成比



株式数構成比

